

【京都大学人間・環境学系（大学院人間・環境学研究科 人間・社会・思想講座） 准教授 公募】

令和6年2月14日

| | |
|-----------|---|
| 職種 | 准教授 |
| 募集人員 | 1名 |
| 所属および勤務場所 | 所属教員組織：京都大学人間・環境学系 所属教育研究組織：京都大学大学院人間・環境学研究科 人間・環境学専攻 人間・社会・思想講座 (所在地：京都市左京区吉田二本松町) |
| 専門分野 | 社会学 |
| 職務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院人間・環境学研究科での教育・研究 ・総合人間学部での教育、および、全学共通科目の担当 ・大学・研究科・学部などの委員会活動 <p>*教育では、下記の授業科目（いずれも半期科目）の担当と学生に対する研究指導・論文指導を行う。</p> <p>人間・環境学研究科：人間・社会行動論2（前期週1コマ）、社会行動論演習3（後期週1コマ）、社会学基礎演習IIA（前期週1コマ）・IIB（後期週1コマ）など</p> <p>総合人間学部：社会学系講義科目（前期週1コマ）、基礎演習：社会学II（前期週1コマ）、社会学系演習科目A・B（人間・環境学研究科の「社会学基礎演習IIA・IIB」と合同）など</p> <p>全学共通科目：社会学I（前期2コマ）、社会学II（後期2コマ）、ILASセミナー：社会学II（総合人間学部の「基礎演習：社会学II」と合同）、社会学基礎ゼミナールII（後期1コマ）</p> <p>（「社会学系講義科目」と「社会学系演習科目」の科目名は、採用者の専門性を考慮して決定する）</p> <p>*以上に加えて、本公募要領の「その他」欄に記載のダブルアポイントメント教員としての職務を担う可能性がある。</p> |
| 着任時期 | 令和7年4月1日 |
| 応募資格 | <p>次の条件のすべてを満たすこと</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 博士学位を有するか、これと同等の研究業績を有すること。 (2) 社会学分野において十分な研究遂行能力があり、社会学の理論や学説史についての幅広い見識をもち、自らの研究を自省的に相対化しうる資質をもつこと。質的調査に基づく研究の査読論文掲載の業績があるほうが望ましい。また、社会学関連の国際誌での査読あり英文論文掲載と、社会学分野の日本国内誌での査読あり和文論文掲載の、両方の業績があるほうが望ましい。 (3) 社会学分野において大学院生、学部生の教育・指導を行う能力があること。 (4) 社会学分野の全学共通科目を担当する能力があり、意欲と責任感を持って行う意志があること。 (5) 教育や組織運営を行うのに十分な日本語運用能力をもつこと。 (6) 採用後、基本的に毎日通勤できること。 |
| 勤務形態 | 常勤（任期なし）、専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当） 休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日 |
| 給与・手当等 | 年間支給給与額の目安：500万円以上 本学支給基準（教職員給与規程）に基づき支給（月給制） |
| 試用期間 | あり（6ヶ月） |
| 社会保険等 | 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入 |
| 提出書類 | 以下の提出書類のすべてを1つのPDFファイルにまとめ、ファイル名を「○○○○_****.pdf」（○○○○は応募者氏名、****は応募者の電子メールアドレス）（例：京大花子_hanako@kyoto-u.ac.jp.pdf、非日本語氏名の場合は HanakoKyodai_hanako@kyoto-u.ac.jp.pdf）とし、下記 URL のページに記載の指 |

| | |
|--------|---|
| | <p>示に従って提出してください。</p> <p>https://drive.google.com/file/d/184faDzl0y8wgZY00Tr1qNhsIpSrvADOC/view?usp=sharing</p> <p>(1) 履歴書（様式自由）： 次の内容を含めてください。氏名、生年月日、2025年4月1日時点年齢、性別、高等学校卒業以降の学歴・職歴、現住所・電話番号・電子メールアドレス、獲得外部資金、所属学会、賞罰。なお本公募要領の「男女共同参画」の欄も参照してください。</p> <p>(2) 研究業績一覧（様式自由）： 「国際誌掲載の査読あり論文」「国内誌掲載の査読あり論文」「査読なし論文」「著書（単著）」「著書（共著・分担執筆）」「その他」の順に区分したうえで、発表年の新しいものから順に記載してください。出版決定済みの未出版業績については、出版証明書などを添付してください。未出版や出版未決定の学位論文は、「その他」に記載してください。</p> <p>(3) これまでの研究歴、研究内容の特色、および今後の研究計画の概要（日本語で2,000字程度）。</p> <p>(4) 全学共通科目を担当するにあたっての抱負・意見（日本語で1,000字程度）。</p> <p>(5) 大学院・学部の専門科目を担当するにあたっての抱負・意見（日本語で1,000字程度）。</p> <p>(6) 応募者について照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先（電子メールアドレスあるいは電話番号）・応募者との関係。</p> <p>(7) 主要な論文（5編以内）の各編についての要旨（1編につき日本語で400字程度。ただし論文の使用言語が日本語以外の場合は日本語で1,000字程度）。なお論文は、著書（単著・共著・分担執筆）の1つの章または複数章をもって代えてもよい。また論文には、未出版や出版未決定の学位論文を含めてはならない。</p> <p>(8) 上記（7）の主要な論文の各編の写し。共著の場合は自身の担当役割を明記すること。</p> <p>*カバーレターは不要です。</p> <p>*PDFファイルを作成する際には、必要に応じてフォントを埋め込むなど、表示・印刷に支障のないように注意してください。</p> <p>*後述の「応募締め切り」までは、システム上は何度でも再アップロードが可能ですが、別ファイルとして保存されて混乱が生じますので、再アップロードはできるだけ控えてください。</p> <p>*提出書類（8）のうち、提出書類PDFファイルに含めることができないものがあれば、それ（ら）のみを各編につき5部ずつ同封して、下記の宛先へ郵送してください。ただし、郵送された提出書類は返却しません。</p> <p>〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学人間・環境学系長宛</p> <p>封筒または封緘した包みの表に「人間・社会・思想講座（社会学分野）教員応募書類在中」と朱書きし、書留郵便など配達記録の残る方法で郵送のこと。</p> |
| 応募締め切り | 令和6年4月18日（木）（郵送の場合は17時）（日本時間）必着 |
| 選考方法 | まず提出書類に基づいて選考を行います。この選考を通過した応募者には、追加書類の提出を必要に応じて求めたうえで、面接を行います。面接では模擬授業をしていただきます。面接の際の旅費・滞在費等は応募者の自己負担とします。ただし面接をオンラインで行う場合もあります。選考結果は、人間・環境学系会議での決定後、電子メールで通知します。 |
| 問合せ先 | <p>京都大学人間・環境学系（大学院人間・環境学研究科） 柴田 悠</p> <p>E-mail: shibata.haruka.8a@kyoto-u.ac.jp （*を@に替えてください。）</p> <p>なお、電子メール以外の方法による問い合わせは受け付けません。メールの表題は「人間・社会・思想講座教員公募について」としてください。</p> |
| 男女共同参画 | 京都大学は男女共同参画を推進しています。「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。また、さまざまなライフイ |

| | |
|-----|--|
| | <p>ベントに伴う休業期間がある場合、理由明記の上、履歴書に休業の旨記載できます（<u>男女を問わず</u>）。審査の際に休業中の業績については、休業期間の前後と等しい業績を上げたものとみなします。</p> |
| その他 | <p>提出して頂いた書類は、採用審査のみに使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。</p> <p>人間・環境学研究科については下記のwebページをご覧ください。 https://www.h.kyoto-u.ac.jp/</p> <p>京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。</p> <p>なお着任後に一定期間（基本的に5年間）、地球環境学堂に異動し、人間・環境学研究科とのダブルアポイントメント（両任）教員となつていただく場合があります。ダブルアポイントメント教員になつていただいている間は、人間・環境学研究科等における通常教育・研究・組織運営に加えて、地球環境学堂での教育・研究・委員会活動もしていただくことになります（手当なし）。</p> |